

☆高津区内にある岡本太郎に関するパブリックアートについて調べてみました☆

日本を代表する芸術家、岡本太郎が川崎市出身なのは、ご存じでしょうか。
のちに作家となった岡本かの子の出身地である、川崎市高津区二子で誕生しました。
(ちなみに太郎の父は、大正～昭和初期に活躍した漫画家の岡本一平です)

また、太郎は「芸術は大衆の目に触れるもの」と考え、個人に売ることが好まなかったようです。
そのため、公園や広場など、全国各地において公共の空間（パブリックアート）を残しました。
今回は、高津区内に点在するパブリックアートを2つご紹介しようと思います。

①岡本かの子文学碑「誇り」(二子新地駅下車、二子神社隣)
太郎の母、かの子の人生を称え、製作されたものです。



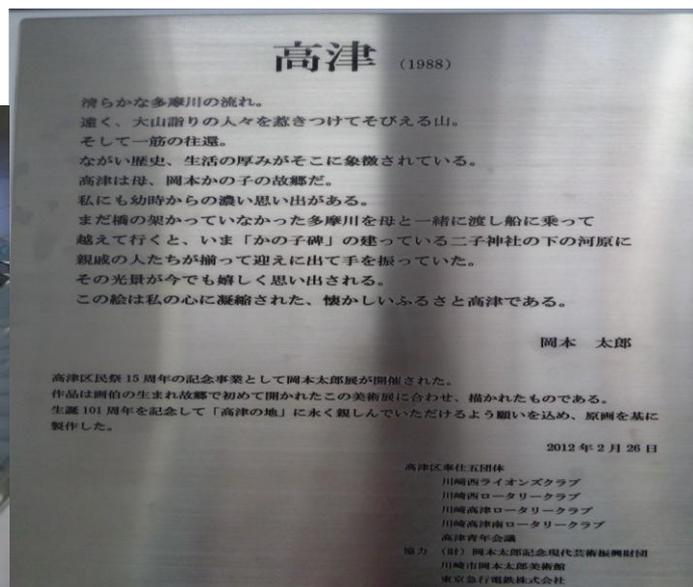
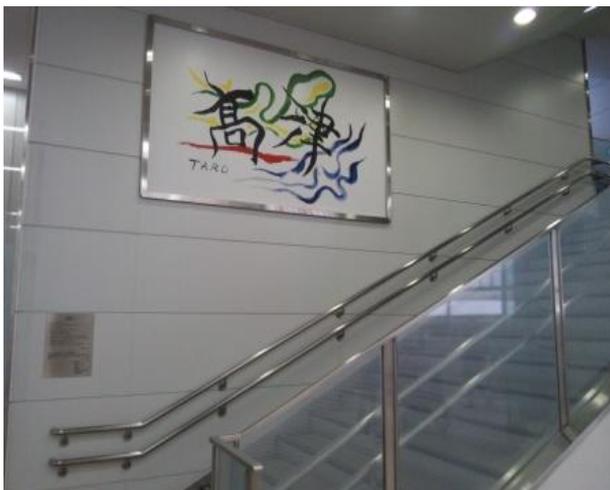
この文学碑は、「国立代々木競技場」を設計した
著名な建築家、丹下健三も協力しました。

(台座と築山も丹下氏設計)

また、太郎一家と交流があった小説家、川端康成の書も刻まれています。

この台座には「この誇りを亡き一平とともに
かの子に捧ぐ 太郎」と記してあります。

②東急田園都市線「高津駅」構内



絵のタッチも、鮮やかで力強い、いかにも「岡本太郎らしさ」の表現を感じさせる絵画です。

すぐ隣には、レリーフで、岡本太郎がふるさとへの思いを込めた文章を記しています。

まもなく春ですね。ゆっくりと近くを散策したいものです。(文責：み)